



京都駅ビル 室町小路広場
Kyoto Station Building - Muromachi Koji Square
●18:00-18:15 オープニング・セレモニー
門川大作／京都市長、フィリップ・セトン、駐日フランス大使によるご挨拶。
●18:25-18:55 ザッハトルテ-ZAHATORTE-によるライブ
ヨーロッパの古き良き大衆音楽の雰囲気を取り入れた、京都発、アコーディオン、チェロ、ギターによる演奏。
●19:05-19:40 マルクス・ボルジャ（2020年ヴィラ九条山レジデント）のパフォーマンス「沈黙の聖母」協力：Youth Theatre Japan

18:00	京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町
↓	☎075-361-4401
19:40	※時間やプログラムは変更の可能性があります。

7 京都国立近代美術館
The National Museum of Modern Art, Kyoto
映像上映 [Intérieurs 2020]

パリ市立近代美術館が、コロナ禍における10名の若手アーティストへの支援を目的として委嘱したショートビデオ作品の上映。参加作家：マリー・アンジェレッティ、レティシア・パドー・オスマン、ガエル・ショワヌ、モルガン・クルトワ、アラージュ・ハナエイ、ジャン・シャルル・ド・キャック、クレマン・ロジエルスキ、サラ・サディック、ナオキ・スーター＝シュドウ、ステファン・チェレブニン。

12:00	10/1 (12:00-20:00)、10/2 (9:30-20:00)、10/3 (9:30-17:00)
↓	京都市左京区岡崎円勝寺町
20:00	☎075-761-4111



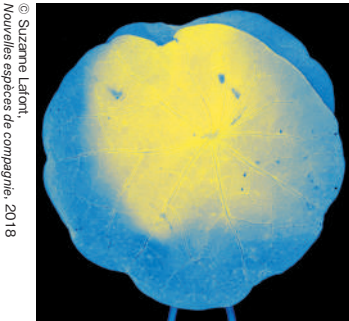
12:00 10/1 (12:00-20:00)、10/2 (9:30-20:00)、10/3 (9:30-17:00)
↓ 京都市左京区岡崎円勝寺町
20:00 ☎075-761-4111



旧五条楽園 平岩 | Gojorakuen Hiraiwa
Red Line
下京区にある旧五条楽園の遊郭建築を会場に、女性アーティストによるビデオ作品を展示します。会期中には山家悠平（女性史研究家）と三宅敦夫（キュレーター）によるトークイベントも開催予定。参加アーティスト：ジュスティーン・エメール、スプツニチ！、申芳枝、陳有柔、柳瀬安里

13:00	9/30-10/4 (13:00-20:00) ※10/1は22:00まで
↓	京都市下京区早稲町314番地
22:00	☎075-351-6748

※ 住所の左横に記載されているのが、ニュー・ブランシュ当日、10/1（金）の開催時間です（入場無料）

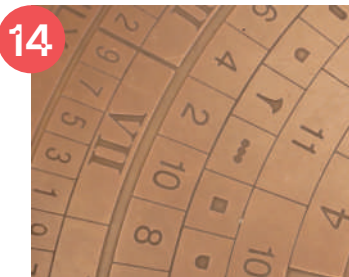


19:00 京都市左京区吉田泉殿町8
↓ 23:00 ☎075-761-2105



香老舗 松栄堂 薫習館 | Shoyeido Kunjyukan
[1階エントランス①および本店烏丸通駐車場②]
川俣 正 「夢浮橋 ワーク・イン・プログレス2021」
川俣正による鴨川に架ける橋のプロジェクトの原寸大スケールの橋脚の一部と学生による模型の展示。
[1階松吟ロビー③]
[L'île] ヨアンヌ・ラムレール
ニュー・ブランシュKYOTOとマルセイユ欧州地中海文明博物館とのコラボレーション。フランス国立自然保護地域であるカマルグ湿原をテーマにしたヨアンヌ・ラムレールの写真作品をスライドショーで上映します。

10:00	① 模型展示 9/30-10/31 ② インスタレーション 9/30-10/3
↓	③ [L'île] 10/1-10/31 (10:00-17:00) ※10/1は19:00まで
19:00	京都市中京区烏丸通二条上ル東側
	☎075-212-5590



京都コンサートホール1階エントランスホール | Kyoto Concert Hall Entrance Hall
HORIZON——“終わり”から始まる世界を展望する
メシアン の傑作《世の終わりのための四重奏曲》。第二次世界大戦中、ドイツ軍の捕虜として収容所生活を強いられていたメシアンでしたが、この作品の創作・初演を行うことにより、絶望の向こうに“光”を見出しました。“終わり”から始まる世界があることを信じて、コロナ禍のいま、皆様にご作品の演奏をお届けします。

19:00	京都市左京区下鴨半木町1-26
↓	☎075-707-6430
20:00	

アンスティチュ・フランセ関西
Institut français du Japon - Kansai

[1F 稲畑ホール]
●京都建築映像祭2021 オープニングイベント：ル・コルビュジエ詩画集『二つの間に』短編上映ほか
協力：ヴェッター公園

[2F 23番教室]
●FOTOZOFIO スライドショー：12名の作家の作品を上映（10/2-10/14メディアテーク ※日月休）

[2F メディアテーク]
●Omote Ura：VR映像による、伝統と現代音楽の融合体験。

[3F サロン]
●ひらいゆう個展「MAYA ララバイ」：シニア世代の写真・映像芸術プロジェクト FOTOZOFIO の写真展。10/14まで（10:00-18:00）※日月休

【ガーデン】
●シュザンヌ・ラフォン写真展：フランスのアートシーンで最も重要な人物の一人とされる写真家の作品を紹介します。協力：ニーム カレ・ダール現代美術館

3 京都芸術センター | Kyoto Art Center
①クリスティーナ・ルカス映像展「次の世界へ～Vers l'autre Monde」
クリスティーナ・ルカスの、2つの映像作品を公開。会期中にはオンライン中継にて作家本人を交えたトークイベントを実施する予定。
主催：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会） | 協力：欧州地中海文明博物館、Gallery Albarran Bourdais
②ホー・ツーニエン「ヴォイス・オブ・ヴォイドー虚無の声」
（YCAMとのコラボレーション）| KYOTO EXPERIMENT 2021 AUTUMN プログラム
シンガポールを代表するアーティスト、ホー・ツーニエン。YCAMとのコラボレーションによる、「京都学派」をテーマにVRを用いた映像インスタレーション。

10:00	①10/1-10/10 (10:00-20:00) ※10/3は休廊の予定
↓	②10/1-10/24 (10:00-20:00) ※①②とも10/1は22:00まで
22:00	京都市中京区室町通錦葉節下る山伏山町546-2
	☎075-213-1000



5 五条坂京焼登り窯
Kyoto style climbing kiln
石橋英之展「潜在」
ニュー・ブランシュKYOTO とフランス北部トゥルコワン市のル・フレノワ国立現代アートスタジオとのコラボレーション。「潜在」は、112年の歴史を持つ元藤平陶芸登り窯跡地を舞台とし、現在と過去、実在と不在、確定と不確定の間を行き来しながら、元藤平陶芸登り窯や文献に残される五条坂界隈の記憶（痕跡）と証人との出会いから生まれる記憶の差異を糧とし、場所と痕跡、そして記憶の関係を探る2部構成のリサーチプロジェクトである。

11:00	10/1-10/17 (11:00-18:00)
↓	※火水休
20:00	※10/1のみ20:00まで
	京都市東山区六波羅裏門通東入竹村町151-1
	☎075-761-2105



京都伝統工芸館 | Gallery of Kyoto Traditional Arts & Crafts
紙のカタチ展 —平面から立体の世界へ—
日本の伝統文化のひとつである折り紙に光を当て、その技の可能性を探ります。江戸時代に建築を説明するために作られた「起こし絵」、ページをめくると素敵な世界が広がる「飛び出し絵本」、そして「折り紙建築」。更にはフランスの人間国宝であるシルヴァン・ル・グエン氏による、創作扇子などを展示します。

10:10-10/25 (10:00-17:30) ※10/12、13、19、20休 後日巡回：11/5-11/30 鴨川七条ギャラリー（京都美術工芸大学1F）10:00-18:00、最終日は17:00まで、土日祝休
※いずれも最終入場は30分前まで ※10/1は16:00-20:00
京都市中京区烏丸通三条上ル場之町606 ☎075-229-1010

●印：ニュー・ブランシュKYOTO 2021スペシャル企画 - フランス文化機関とのコラボレーション

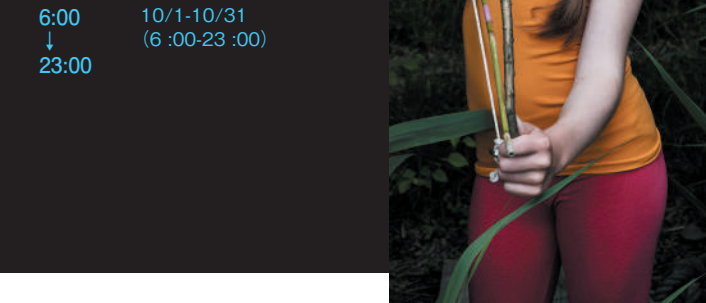


ロームシアター京都 | ROHM Theatre Kyoto
[サウスホール]※要事前予約
●19:00-20:30上映会「アリアヌ・ムヌーシュキン：太陽劇団の冒険」
[サウスホール 1階席ホワイエ] 二条通側の屋外より鑑賞いただきます
●18:00-18:30と21:00-21:30 パフォーマンス「Temple of Love - Affirmation」
協力：パリ市立近代美術館 / コンセプト：ガエル・ショワヌ / 構成（京都バージョン）：目黒大路 / 出演：遠藤リョウノスケ、瀧口翔、松木萌、目黒大路
[ピロティ]
●19:30-20:15 N'SO Kyoto パフォーマンス「AMATERASU II」
現代・伝統舞踊、3種の楽器と電子機器の融合により表現される「天照大御神」の世界。

18:00	京都市左京区岡崎最勝寺町13
↓	☎075-771-6051
21:30	

10 四条通東洞院地下道
Shijo-dori Higashinotoin underpass
地下鉄と阪急の運行時間帯 [L'île] ヨアンヌ・ラムレール写真展
ニュー・ブランシュKYOTOとマルセイユ欧州地中海文明博物館とのコラボレーション。
京都市街中心部の地下道において、フランス国立自然保護地域であるカマルグ湿原をテーマにしたヨアンヌ・ラムレールの写真展を開催します。

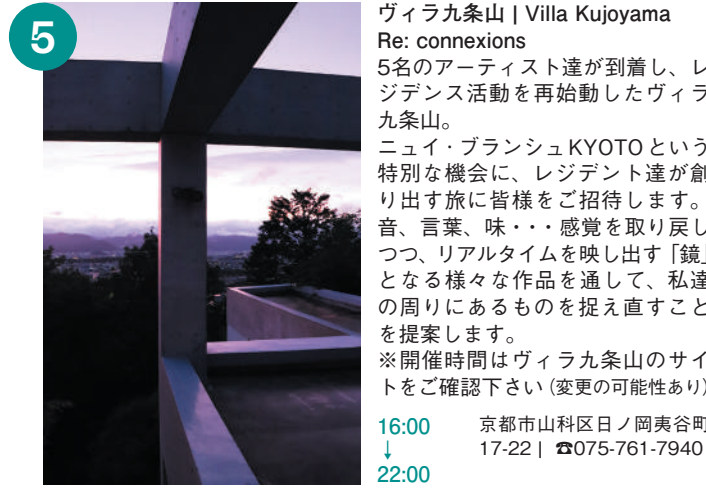
6:00	10/1-10/31 (6:00-23:00)
↓	23:00



天オアートKYOTO（きたアトリエ）| Tensai-Art KYOTO (Kita Atelier)
第9回 天オアート展2021「オープン・スタジオ」
障のある人の芸術創造活動を発信・推進する天オアートKYOTOは、今年5月に「きたアトリエ」へと移転開設しました。第9回 天オアート展2021「オープン・スタジオ」は移転後初のアートエ公開型の展覧会となります。天オアートKYOTO作品の魅力を地域のみならずはじめて広く社会に発信します。

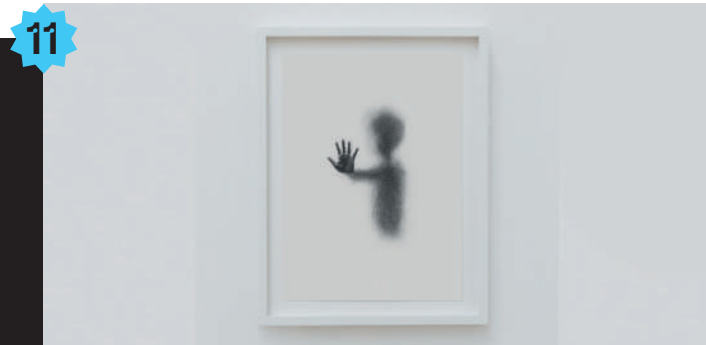
11:00	9/25-10/10 (11:00-18:00) ※火休 ※10/1は21:00まで
↓	京都市北区桑野西向町2ふれあい共生館内
21:00	☎075-334-5180

10/1-10/10 (11:00-18:00) ※火休 ※10/1は21:00まで
京都市北区桑野西向町2ふれあい共生館内
☎075-334-5180



ヴィラ九条山 | Villa Kujoyama
Re: connexions
5名のアーティスト達が到着し、レジデンス活動を再始動したヴィラ九条山。
ニュー・ブランシュKYOTOという特別な機会に、レジデント達が創り出す旅に皆様をご招待します。音、言葉、味・・・感覚を取り戻しつつ、リアルタイムを映し出す「鏡」となる様々な作品を通して、私達の周りにあるものを捉え直すことを提案します。
※開催時間はヴィラ九条山のサイトを ご確認下さい（変更の可能性あり）

16:00	京都市山科区日ノ岡夷谷町17-22 ☎075-761-7940
↓	22:00



無鄰菴 | Murin-an
(最終入場20:30) タリク・キスワンソン展「The Window」
ニュー・ブランシュKYOTOとフランスのニーム カレ・ダール現代美術館とのコラボレーション。スウェーデン生まれ、パリとアンマンに在住の新進気鋭のアーティスト、タリク・キスワンソンのデッサンと近代日本庭園との調和を楽しめる展覧会。
夜間開場10/1：①18:00～19:00、②19:00～20:00、③20:00～21:00（各時間の15分前より受付開始）チケットを2種類販売：①入場券0円、②喫茶付き入場券1000円 / 予約優先。いずれも1時間につき上限30名まで。30名を超える場合、ご予約のない方には次の空きがある時間枠までお待ち頂きます。

18:00	10/1-10/10 (9:00-17:00※要別途入場料) ※夜間開場：10/1のみ
↓	21:00 京都市左京区南禅寺草川町31番地
	☎075-771-3909



京都市京セラ美術館 | Kyoto City KYOCERA Museum of Art
Friendship lighting in Kyoto City KYOCERA Museum of Art
ニュー・ブランシュ特別ライトアップ
フランス・パリの「ニュー・ブランシュ」に着想を得たニュー・ブランシュKYOTO。京都市京セラ美術館では、フランス国旗のトリコロールをモチーフにしたニュー・ブランシュライトアップを実施。遠く離れた京都とパリを美術館の光がつなぎます。光の演出は、光のアーティスト・高橋匡太が行います。

日没	10/1-10/10
↓	京都市左京区岡崎円勝寺町1 2 4
21:00	☎075-771-4334



京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA | Kyoto City University of Arts
Art Gallery @KCUA
チェン・ティエンジュオ「牧羊人」 | ニュイ・ブランシュのための展覧会特別プレビュー | KYOTO EXPERIMENT 2021 AUTUMN プログラム
パフォーマンスから映像、デザイン、ファッション、電子音楽、宗教まで、ジャンルやメディアを自由に横断する中国ミレニアル世代の旗手、チェン・ティエンジュオの日本初個展。中国からリモートで新作のパフォーマティブ・インスタレーションを制作し、神秘的な宗教儀式とレイバパーティが混濁した祝祭的空間を出現させます。
企画：KYOTO EXPERIMENT、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会、京都市立芸術大学

16:00	10/5-10/31(11:00-19:00) ※月休 ※10/1は22:00まで
↓	京都市中京区押小路町238-1 ☎075-253-1509
22:00	



有斐斎 弘道館 | Yuuhisai Koudoukan
「まなざし_Regard」～ニーム カレ・ダール現代美術館コレクション / フランス共和国オクシタニ州との国際文化交流展～
友好提携州の1つ、フランス共和国オクシタニ州との国際文化交流の一環として同州にあるニーム カレ・ダール現代美術館の協力のもと、キャロル・ドゥイヤー / パベット・マンゴルトの「Idri」と、シュザンヌ・ラフォンの「(INDEX)」による「まなざし_Regard」と題した展覧会事業を日本文化の研究・教育機関である有斐斎 弘道館にて開催します。
展示作品：「Idri」キャロル・ドゥイヤー / パベット・マンゴルト、「(INDEX)」シュザンヌ・ラフォン

10:00	10/1-10/17 (10:00-17:00) ※水休 ※10/10、10/16休
↓	京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町524-1
17:00	☎075-441-6662

提携プログラム
※前日は公共交通機関を利用のうえ、御来場ください。
※新型コロナウイルスの感染状況及び天候等により、プログラムが変更される場合があります。
※スクリーン利用、手指の消毒など、感染拡大防止の取組に御協力ください。
※感染拡大防止のため、会場入場制限をさせて頂く場合がございます。
最新情報(公式)サイト(www.rutibed.jp)を確認ください。

KYOTO EXPERIMENT 2021 AUTUMN
10/1(金) - 10/24(日)
KYOTO EXPERIMENTは、国内外の「EXPERIMENT（エクスペリメント）＝実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指すフェスティバルです。今回のフェスティバルは「もしもし?」をキーワードに音・声・語り・静寂など多様な切り口から、これらを問い直す作品群の上演、リサーチ、エクスペリエンスによる3つのプログラムを展開します。

主な会場：ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、比叡山ドライブウェイ ほか
料金：プログラムによって異なる
主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会 <https://kyoto-ex.jp>

